

あなたがお住まいの地域は、津波被害警戒区域（暫定）に含まれます。
このパンフレットは、いつも目の付くところに置いておきましょう！

地震・津波

入江地区
東南海・南海地震
津波防災計画

防災マニュアル

東南海・南海地震が発生した時、入江地区では…

2013
保存版

最大震度
6弱

建物や、電気・水道・ガス
などのライフラインに
被害が発生することが
予想されます。

津波は
何度も来襲！

5～6時間は継続する
と言われています。
第1波が最大とは
限りません。

津波想定高さ
最大**4.2m**

津波は防潮堤を
乗り越えて
やってきます。

津波火災
の危険あり！

津波により、
火災が拡大する
危険性が
あります。

津波到達
予想時間
90分～100分

外出中でも自宅に
もどらないこと！

避難は
徒歩が原則！

渋滞は避難や緊急車両
の妨げになります。

【表紙画】
須佐野中学校防災ジュニアライセンスチーム
岡橋 李笑（おかはし ももえ）
神戸市立 須佐野中学校 66回生

ゆっくりとした大きなゆれを感じた
『大津波警報・津波警報』の発令
『避難指示・避難勧告』の発令

大開通より北側に
直ちに避難！

入江地区防災福祉コミュニティ



！ 東南海・南海地震は必ず起こる！

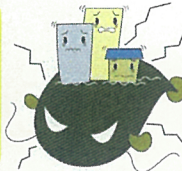
今後 30 年以内の地震発生確率は…

地震調査研究推進本部発表
(2013年1月1日時点)より

南海地震
60%程度

東南海地震
70~80%

東海地震
88% (参考値)



(参考) 今後 30 年以内に災害・事故にあふ確率

『全国を概観した地震動予測図 (2006)』
(地震調査研究推進本部) より

交通事故で
負傷



24%

ひたたくり
被害



1.2%

火災で死傷



0.24%

台風で死傷



0.007%

今後 30 年間で、みなさんが自然災害や事件・事故で被害にあふ可能性と比較すると、
東南海・南海地震の発生確率が、いかに高いかがわかります。

！ 東南海・南海地震で入江地区はどうなるの？



- * 津波は神戸市西部 (垂水区) から東部 (東灘区) に向かって来襲すると予想されています。
 - * 地震発生後の兵庫区への津波到達時間は 90~100 分と予想されています。
 - * 津波は **何度も** 来襲します。5~6 時間は継続し、**第 1 波を越える** ものも。
 - * 津波による漂流物などにより、**火災が発生・拡大** する可能性があります。
- 冷静にあわてず、みんなで協力して避難すれば、より多くの命が助かります。

巨大地震による津波の想定高さを暫定的に今までの 2 倍程度としました。 現行 2.5m → **4.2m** 最大津波高さ 1.7m × 2 倍 + 満潮時 0.8m

兵庫県津波被害警戒区域図 (暫定)
入江地区周辺拡大図



みんな
で協力して
避難を！

この地図によると…
兵庫区では大開通付近までが津波被害警戒区域になります。
(青色ラインより南側の地域)
防潮堤を完全に閉鎖できた場合でも JR 神戸線高架付近まで津波に浸水する可能性があります。

この地図は、平成 23 年 10 月 24 日に兵庫県が公表した津波被害警戒区域図 (暫定) に基づいて作成されています。

注意 津波被害警戒区域内では、長時間の孤立・津波火災の危険性が高くなります。
消防署・消防団は、原則として地震発生から 60 分を経過した時点で活動を中断し、津波被害警戒区域外に退避を開始します。
マンションなどの高層階に住んでいるからといって安全とはいえません。

！ 津波から身を守るためには、とにかく避難。

～地震発生から避難まで～ とにかく落ち着いて行動しましょう！



地震発生

地震が収まるまで 自分と家族の身を守る！



情報収集

防災行政無線・携帯電話・携帯ラジオなどで 複数の情報収集を！

※停電の時はテレビ、パソコンは使用できません。
停電に備えて、携帯ラジオの乾電池・携帯電話の予備バッテリーを準備しておきましょう。



気象庁から
大津波警報
津波警報

神戸市から
避難勧告
避難指示

とにかく避難！



避難開始

近所のひとへの避難呼びかけ
災害時要援護者 (高齢者・障がい者・妊婦など) の避難支援

原則

**大開通より北側に
徒歩で避難**
最終避難場所は湊川公園です。

例外

津波到達予想時間 (地震後約 90 分) までに大開通より北側に避難できない場合
最寄りの
津波緊急待避所の
3 階以上へ避難

大津波警報・津波警報解除



避難勧告・避難指示が解除されるまで、
津波被害警戒区域外の指定避難所 (小学校など) に避難

避難勧告・避難指示解除

最低 5~6 時間継続

実際に地震による津波が発生したときには、この図のとおり行動する必要はありません。
この図を参考に、家族や学校・職場で、津波発生時の避難方法について話し合ってみましょう。

「自分の身は自分で守る」が大原則です！

減災グッズを備えましょう!

災害はいつやってくるかわかりません。この用紙をコピーして、巨大地震をはじめ、いつかは遭遇するかもしれない自然災害への準備を進めておきましょう!

減災グッズを備えよう!

- ① いつもケータイ
 - ② 非常持ち出し
 - ③ 安心ストック
- ### チェックリスト



今回チェックした日: 年 月 日

次回チェックする予定の日: 年 月 日

family
name

このリストは1995年1月17日に起こった阪神・淡路大震災の被災経験者の声を反映させて作った「非常持ち出し品リスト」のその後17年以上の月日が流れる中で変化した社会情勢や、進化した防災・減災の知恵を考慮に入れ、誰もが自分の備えをはじめするためのガイドとなるよう改定したものです。これを使って巨大地震をはじめ、いつかは遭遇するかもしれない自然災害への備えを進めてみてください。
【この用紙はダウンロード・コピーして、減災の啓発にご活用ください。】(できましたら活用の実績をEメールでご報告ください。kikaku@dri.ne.jp)

リニューアル新版 ver.1 20120422
編集:ひとづか未来サークル
発行:阪神・淡路大震災記念と防災未来センター

●非常時に備える3ステップ。まずは、1次から。ついで、0次・2次も。

0次の備え いつもケータイ!

「非常持ち出し品」として備えるものの中から、携帯ができるものは、いつも使うバックや、ポケットに入れ、身につけておきましょう!
いつでもどこで被災するかわからない災害への安心感を持ち歩こう。



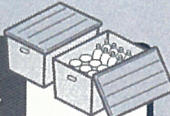
1次の備え 非常持ち出し品

家庭や勤務先……1日のゆくを過ごす場所には「非常持ち出し品」を備えよう!とついでに、さっと持ち出して逃げられるコンパクトな1バック。
●被災の1日、命が安全なところに逃げられるようにこれだけは持っていたい、という最低限の備え。
●合わせて現金・足元を守って逃げられる備え。
●どこに置く?玄関・寝室……持ち出しやすいところに、車のトランクに予備を置くのも良い。



2次の備え 安心ストック

非常時、ライフラインが途絶え、もしも助けの手が届かなかったとしても、何日間かは自給自足してしのげる物品を備えよう!
●キッチンや、押し入れ、ガレージ、物置などに、ケースにまとめ出しやすく、持ち運びしやすい。
●食料など消耗品は、少なくとも3日間分は備えたい。
●ライフラインが止まった際、被災生活を過ごすことになるかもしれない時に、安心なセットを考えよう。



●グッズを揃える心がけ、4つ。

1年に2回は、チェックしよう!

- 次のチェック日を決めておこう。
- 飲料・食品の賞味期限、薬品や電池の使用期限をチェックして新しいものに交換しよう。それぞれの品物が古く劣化していないか、確認しよう。
- 保存食品は交換の際に試食しよう。
- 衣類など、季節が変わる必需品を取り替えるために、年2回、春と秋。

使い方を覚えよう、身につけよう!

- つかい方を身につけておこう。いざという時に役立つ。慣れ親しんで、身体で覚えられるような機会を持つよう。
- ロープの結び方
- 簡易トイレのつかい方
- 救急箱の中身、ケガの手当。
- 三角巾のつかい方
- 簡易防寒具(ウイナルブランケット)……etc

日用品の汎用性。工夫・知恵を知ろう!

- 日常的に使うものは、いざというときにさまざまな用途で役立てられる。それぞれの可能性を知り、実際に試してみよう。
- 新聞紙、ラップ、ビニール袋……
- これまでの被災経験者の声から、知恵・アイデアを調べてみよう。
- 情報をウェブサイトなどででも入手・確認してみよう。

「自助」に加えて、「共助」の備えも。

- いざという時は誰かが、助け、助けられる立場になる可能性がある。わが家の備えだけでなく、町内会・自治会などでの共同の備えが、どこに、どのようにあるか、確認しておこう。
- 自治体からのハザードマップ、非常時の行動、備えのインフォメーションを確認しておこう。
- 地域の防災訓練に参加しよう。

備えを進める 減災グッズ チェックリスト

0 1 2 記入の○は0、1、2次のどの備えとするべきかを検討した補足情報です。

分類	品目	0	1	2	メモ
基本品目	バック				
	非常持ち出し袋				
	水				
	飲料水				0次:500ml、1次:一人1.5L程度
	食				
	携帯食				チョコレート、キャンディ、栄養補助食品など
	非常食				乾パンなど、水・調理などでその実食できるもの
	装備				
	ヘルメット・防災ずきん・帽子など				頭を保護して逃げるもの
	ホイッスル				
	手袋(作業用)				革製など丈夫な素材のもの
	運動靴				
	懐中電灯(予備電池・電源も)				0次はミニライト等携帯用、充電・充電式も参照
	道具				
	万能ナイフ類				ハサミ、ナイフ、カンキリなどの実用ツールが便利
	ロープ(10m)				救助、避難ほこの代用、体重を支えらる長さ
	情報				
	携帯ラジオ(予備電池も)				電波静寂(アウト)状態でも受信できる1次までではスピーカー付きが良い
	携帯電話(充電器・バッテリーも)				
	連絡メモ・備えリスト				
	身分証明書(そのコピー)				健康保険証、運転免許証、パスポート、外国人登録証など
	筆記用具(メモ帳とペン)				
	油性マジック(太)				伝言を書く
	現金(10円硬貨含む)				公費電話用(10円、100円玉が必要、携帯・自宅電話がつかない時)

分類	品目	0	1	2	メモ
基本品目	救急				
	救急用品セット				消毒薬、絆創膏、ガーゼ、ばんそうこう、包帯、三角巾など(カギの手で開封可能)をまとめた、救急箱
	毛抜き				ふけ抜き、ピンセットとして使える
	持病薬・常備薬				食わずで処方箋のコピーも
	衛生				
	マスク				非常時に着用して、トイレにいけないときはかなり便利
	簡易トイレ				トイレ用ペーパーは汎用性が高い
	ティッシュペーパー・トイレペーパー				水が足りない時、役に立つ
	ウェットティッシュ				
	防寒				
	使い捨てカイロ				非常時の軽量の簡易防寒具
	サバイバルブランケット				
	汎用				
	ハンカチ(大判)・手ぬぐい				
	タオル				汚れた靴き取り、ケガの手当て、下着の代用等、高い汎用性
	安全ピン				タオルを留めて下着の代用として使うこともできる
	ポリ袋				大小あわせて10枚程度、汎用性が高い
	ビニールシート類(レジャーシート・ブルーシート)				
	ライター(マッチでも)				避難所での火気などに、マッチよりも使え、持ち運びやすい
	布ガムテープ				多用途、屋外に使うメモを貼るなど、便利

○を参考に、あなた自身、あなたの家庭、通勤・通学先の備えを検討してください。

あなた自身にとって必要な数量、品目の3ステップをプランし、活用ください。

分類	品目	0	1	2	メモ
個別に検討する品目	貴重品				
	予備鍵(家・車等)				
	予備メガネ・コンタクトレンズ				
	運転(証券類のコピー)				
	印鑑				
	女性				
	生理用品(おりものシート)				衛生用品で、ガーゼの代用としても使える
	防犯グッズ				
	くし・ブラシ、鏡				
	化粧品				
	髪の毛をくくるゴム				お風呂に入れない時、髪をまとめれば非常時にも役立つ
	高齢者				
	介護手帳				
	紙おむつ				
	介護用品				
	入れ歯				
	補聴器				
	乳幼児				
	粉ミルク・哺乳瓶、離乳食				
	清潔綿				
	バスタオル				
	紙おむつ				
	だっこ紐				
	母子手帳				
	障害者				
	障害者手帳				ホイッスル、サレン、など
	助けを求める手段				
	移動を助ける手段				杖、いす、おんぶ、など
	情報を得る手段				ラジオ、ワンセグ、紙、など
	コミュニケーションを助ける手段				携帯用、コンパクト、音声メッセージなど
	落ち着ける・安心できるもの				お気に入りのグッズ、など
	要援護者と確認できる外装				セクソン、フラッグ、など
	ペット				
	ペット用品				猫砂、など

分類	品目	0	1	2	メモ
準備する生活用品目	衣				
	衣類				避難所での生活より、必要に応じて準備しよう
	毛布				
	雨具(ポンチョ・雨合羽など)				持ち運びしやすい、防水性にも注意
	食				
	保存食類				缶詰、乾物、脱水菜、調味料、インスタント食品、乾パン、缶詰、など
	塩・調味料				
	食器類(皿・コップ・箸・フォーク・スプーン)				折りたたみ式など
	ラップ				食器を覆って乾燥を防ぐほか、食品の密封にも役立つ
	アルミホイル				
	缶切り				
	カセットコンロ・ボンベ				
	鍋				
	住				
	歯磨きセット・洗口剤				
	石けん				
	ドライシャンプー				
	重曹				歯磨き粉、掃除粉など、多用途に使える
	ふろしき				和紙や布、使い捨てタイプなど、用途に応じて準備しよう
	予備電池(バッテリー)				
	工具類				ラジオ、ペン、など
	地図(避難用・帰宅支援などの)				
	新聞紙・ダンボール				
	あると便利・汎用的				
	ローソク				暖かさを保ち、使えない時に非常時の燃料に活用できる
	非常用給水袋・タンク類				非常時に備え、持ち運びしやすいものを用意しよう
	キッチンペーパー				
	ホワイトボード				メモ、連絡、避難所での連絡などに活用できる
	さししの布				汚染防止、雨風を防ぐのに役立つ
	スリッパ				避難所での生活に役立つ
	蚊取り線香				避難所での生活に役立つ

！ 正確な情報収集で安全確実な避難を。 緊急の情報サービスを知っておきましょう！

防災行政無線：サイレンが鳴ればすぐに避難！

神戸市では避難勧告の発令時などの避難が必要な場合には、音声に加えて、サイレンを鳴らすことでも緊急情報をお知らせします。



屋外スピーカーについて
 ↓屋外スピーカー音の到達距離
約 300m～500m
 ↓モーターサイレン音の到達距離
約 1,000m
 気象条件や建物の影響によって、放送音の到達距離が短くなる場合があります。

サイレンの鳴動パターン
10秒吹鳴→10秒休止
 (3回繰り返す)

吹鳴	休止	吹鳴	休止	吹鳴
10秒	10秒	10秒	10秒	10秒

サイレンのあと、避難勧告や避難指示に関する情報を音声でお伝えします。

神戸市では、毎月17日の午後5時に、防災行政無線のテスト放送を実施しています。
皆さんのご自宅でも、問題なく放送が聞こえるかどうか確認しておきましょう。

災害情報を入手する複数の手段を用意しておきましょう！

神戸市からの緊急情報は、防災行政無線のほか、テレビ、ラジオ、兵庫地区防協あんしんネット（携帯電話やパソコンへの事前登録が必要）等でもお伝えします。
 大きなゆれを感じたときは、みなさんご自身で災害情報を収集しましょう！

兵庫地区防協あんしんネットにご登録ください！

事前登録をすれば、携帯電話で緊急情報等を受信することができます。

- 兵庫地区防協あんしんネットにご登録いただくと、兵庫県災害対策センター・神戸県民局・神戸市・兵庫地区防協あんしんネットから発信された緊急情報や気象情報が受信出来ます。各種防災情報の入手手段のひとつとしてご活用下さい。
- 登録方法は…

hyogobokyo@bosai.net 宛に空メールを送信して下さい。

または、下記のQRコードを読み取り、空メールを送信して下さい。



※登録・情報提供料は無料ですが、メールを受信する場合に通信料がかかります。

兵庫地区防火安全協会事務局：神戸市兵庫消防署 総務査察課 総務係
TEL: 078-512-0119

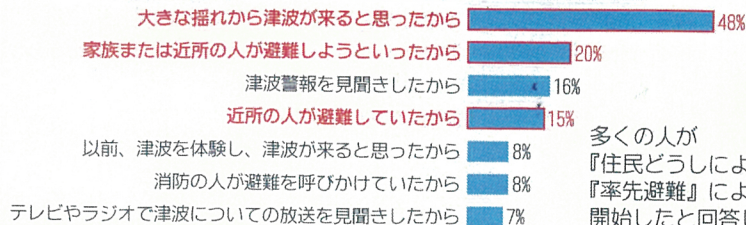


！ みんなで協力して避難すれば全員が助かる。 災害時にこそ、ご近所力を！

【ご近所への避難のよびかけ】と【自らが率先して避難すること】
 でより多くの命が助かります。

津波から避難したきっかけ

東日本大震災における東北3県住民のアンケート結果から



多くの人が『住民どうしによる避難の呼びかけ』や『率先避難』によって、津波からの避難を開始したと回答しています。

阪神・淡路大震災では、住民が救助の主役に！

倒壊した家屋から救出された人のうち、約8割が家族や近所のみなさんによるものでした。

災害時にあなたの助けを待っている人がいます。

災害が起きても、耳が聞こえない、目が見えない、歩くのに介助が必要…など、いろいろな理由で『**ひとりで避難するのがむずかしいひと**』が身近におられるのをご存知ですか？

また、あなた自身も災害によるけがなどで、『ひとりで避難するのがむずかしいひと』になるかもしれません。

大きな地震が発生した時には、ご近所でおたがいに、



- *「一緒に安全なところへにげましょう！」と声をかけること
- *お互いに協力して安全な場所まで避難すること
- *避難所で「近所のあのひとの姿が見えない？」と気づくこと

など、ひとりひとりが**出来る範囲での助けあい**をお願いします。



ご近所力が災害時に大きな力を発揮します！

日ごろからのあいさつや防災訓練・お祭りなどの地域の行事への参加を通じて、困ったときに「たすけて」と言える、「たすけて」と言った人を支援することができる『**ご近所力**』を高めましょう！

あなたもたすけあいの地域づくりにご参加ください！

災害時要援護者登録制度

神戸市には、『ひとりで避難するのがむずかしいひと』のための登録制度があります。これは災害が起こったときなどに地域の方の手助けを希望される方に、あらかじめ住所や氏名などを神戸市に登録していただく制度です。登録していただいた情報は、ご本人の了解を得た上で神戸市と地域のみなさんと共有し、災害が起きたときにどうやって手助けをすればいいのかわ、みんなで相談していきます。詳しいことをお知りになりたい場合は、下記の間合せ先にお尋ねください。

間合せ先：地域の民生委員 または 兵庫区保健福祉部健康福祉課（電話番号：511-2111）

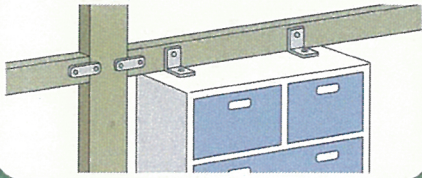
！地震に強いすまいをつくる。

～すまい方を工夫する～ 家具や家電製品を固定しましょう！

金具で家具を固定します

L型金具

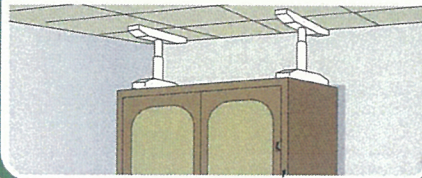
下地などの強度を確認の上、L型金具で固定するのが、最も効果的です。



突っ張り棒で固定します

突っ張り棒

天井がしっかりしていて、すき間が小さくないと効果が期待できません。



ベルトなどで固定します

転倒防止用ベルト

下地などの強度を確認の上、転倒防止用ベルトなどで固定します。



家具固定専門員を派遣します ～神戸市からのお知らせ～

防災活動の一環として、**地域の団体※**の中で**10戸以上まとまって**家具固定に取り組む場合、**市から派遣された家具固定専門員がお宅の家具を固定します！**

※まちづくり協議会、防災福祉コミュニティ、マンション管理委員会、ふれあいのまちづくり協議会、自治会等



高齢者(65歳以上)の方、障がい者の方、小学生以下のお子様がおられる世帯は、家具2つまで無料になります。3つめからは実費負担(1つ5,000円～8,000円)で実施します。それ以外の世帯は実費負担で実施します。

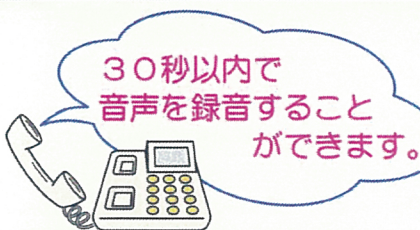
神戸市すまいの安心支援センター(すまいるネット)

TEL: 078-222-0186

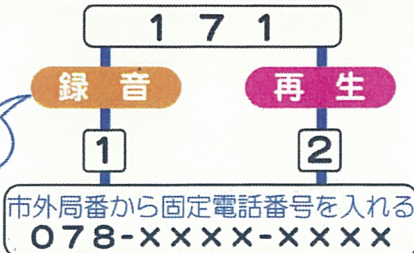
！家族との連絡方法を決めておきましょう！

複数の連絡方法を知っておくことで、家族・親戚との連絡が取れる確率が高まります。

災害用伝言ダイヤル「171」

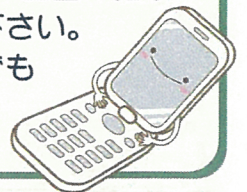


※携帯電話(090・080)、PHS(070)
IP電話(050)の番号は登録できません。(再生することは可能です。)



災害用伝言板(web171)

インターネットで
<https://www.web171.jp/>
にアクセスし、画面の指示に従ってご利用下さい。
携帯電話からでも登録可能です。



公衆電話

災害時、**公衆電話は優先的に回線が確保される**ため、一般の電話回線よりつながりやすくなっています。携帯電話等の普及により普段は存在を忘れがちですが、覚えておきましょう。



公衆電話の数が減っているため、普段からその設置場所を確認しておきましょう。最寄りの公衆電話(24時間使用可)の位置は、津波防災マップに掲載しています。



携帯電話の災害用伝言板

